

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

| 2年1組 | | 指導者 | 川波 蒼 | 教科等 | 算数 |
|---------------|--|---|---|-----|----|
| 単元 | 単元名等 | 2けたのひき算 | | | |
| | 目標 | 評価規準 | ※どちらかを選択し、で囲ってください。 | | |
| | 知識及び技能 | 知識・技能 | ○2位数の減法の筆算の仕方を理解し、計算することができるようする。 【A(2)ア(ア)】 ○加法と減法の相互関係を理解し、それを用いて計算を確かめることができるようする。 【A(2)ア(エ)】 | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | 思考・判断・表現 | ◆2位数の減法について、数の構成に着目し、既習の計算を活用して計算の仕方を考え、説明することができるようする。 【A(2)イ(ア)】 | | |
| 学びに向かう力、人間性等 | 主体的に学習に取り組む態度 | ○2位数の減法について、既習を生かして考えようしたり、生活や学習に生かそうしたりするようする。 | | | |
| 単元の学習展開（全9時間） | | | | | |
| 導入 | <input type="checkbox"/> 学習の見通しをもつ。 | | | | |
| 展開 | <input type="checkbox"/> 2けたのひき算の仕方について学習する。 ・繰り下がりのない2位数の減法とその筆算 ・十の位から繰り下がる2位数の減法とその筆算 | | | | |
| 終末 | <input type="checkbox"/> 確かめ問題で学習内容を振り返る。 | | | | |

| | | | |
|------------------|--|---|--|
| 本時 (7 / 全9時間) | ねらい | 2位数-2位数の計算で答えが1位数になる筆算の仕方について、既習の加法や減法の筆算の共通点に着目したりブロック図で確かめたりすることによって、答えの十の位は「0」になることを説明できるようする。 【◆思考・判断・表現 ノート記述】 | |
| | 学習過程 | 「めあて」と『課題』 「いろいろなひき算の筆算の仕方を考えよう」 『答えの十の位には何を書くとよいかな』 | |
| | | 『まとめ』と『振り返り』 『 $3 - 3 = 0$ だから、十の位には何も書かない』 『たし算もひき算も位をそろえて位ごとに計算することが大切だな』 『繰り上がりも繰り下がりも10を使っているところは同じだな』 | |
| 努力を要する状況の児童生徒に | 【予想されるつまずき】 | 【必要な支援・手立て】 | ブロックを用意し、必要に応じて活用することで、数の大きさや構成を視覚的に捉えやすくする。 |
| | 十の位から1くり下げた状態を想像するのが難しく、どうして計算可能になるか説明するのが難しい。 | ブロックを活用したものをタブレットで写真を撮って説明に使うようにしたり、筆算や絵、図を描いて説明したりするなど、説明の方法に選択肢をもたらせ、自分に合ったものを活用できるようにする。 | 計算の仕方を説明する際に、文字を使って表現することに困難さがある。 |